



ようやく育ちはじめた中庭のウマスギゴケ（令和7年5月23日 順慶寺中庭にて）

◆◆ スギゴケの生命力 ◆◆

順慶寺の中庭は、平成16年の御遠忌法要の際に新たに石庭として造成された。その際に、石庭には必ず必要だと前住職が切望して、スギゴケを責役の相木国男氏宅から分けていただいた。これまで、ほとんど広がらず枯れてしまったと思っていたスギゴケが、20年の歳月を経てようやく大きく広がり始めた。

◇ 進歩は不安も生みだす ◇

今月の釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より

「人々は恐怖にかられ

山、林、園、樹木、霊廟など

様々なものに頼ろうとする。（第一八八偈）

それらは安全な依りどころでも

最上の依りどころでもない。

それらに頼っても

様々な苦しみから

逃れることはできない。（第一八九偈）

からの出典です。

人類が進歩を追求すれば、明日の危険を助長するという人があります。実際、一つの例として世界的な気象変動により若者を中心に不安を増大させている現状があります。私たちは、古来より常に進歩を目指していますが、その都度新たな恐怖が生みだされ、どこかに依りどころが求めています。

今月の話は、コーサラ国の宮廷祭祀であった、アツギダッタという人の逸話から出ています。

アツギダッタは、二代にわたる国王の宮廷祭



今月の釈尊の言葉

人々は恐怖にかられ
様々なものに頼るが
苦しみから逃れることはない



『ダンマパダ』
188・189 偈より

若院のテーマカット NO.71



祀として活躍しましたが、やがて年老いたために、コブラの精霊（①ナーガ）を祀る信仰生活に入り出家しました。そのときアツギダッタに続いて二万人の出家者が出たとも言われます。

ある日釈尊は、そのアツギダッタが類い希なる智慧であふれていることを見出し、モツガラナ（目連）尊者に教誡するように言い伝えました。釈尊の使者としてアツギダッタと面会したモツガラナは、教誡するために一夜の宿を願いました。それを訝ったアツギダッタは、ナーガの住みつく砂山で一夜を過ごすように言い伝えました。おそらく、怖さのあまりこれで諦め

るに違いないと思ったでしょう。しかし、翌朝にはモツガラナは、神通力でナーガを大人しくさせていました。これで観念したアツギダツタに、釈尊は、外道に頼ることなく、^②梵行を^{ぼんぎょう}実践することを諭されたといえます。

◇「みられてる」と「みてやる」◇

昨今のAI（人工知能）の進歩はめざましく、顔認証や音声アシスタント、自動運転など身近な事例をはじめとして、医療での画像認識、商業における顧客管理や販売促進、気象予測、株価予測など様々な利用され、すでに当たり前のものとなりつつあります。

また、^③生成AI技術をつかって、歴史上の偉人の画像から、実際の動画をつくったり、亡くなった人があたかも生きているかのような映像をつくることもできるようになりました。これ

は、興味本位では歓迎することはできませんが、巷にある写真や動画から、性的な動画やフェイク動画を作り出すことも可能で、大きな問題になっていきます。また、生成AIで作られたフェイク動画がフェイクであるかを見きわめることは、もはや人間には難しく、AIに判別させるしかない領域に達していると考えられます。

つまり、ある日突然、知らぬ間に何かの犯人に仕立て上げられ、ネット上に流出させられ、つまはじきにされることもありうるわけです。これは、現代の恐怖に他なりません。

かつて、私たちは「みてござる」と言われて自らを律してきました。しかし今や、AIに「見られている」のです。ここに至ると、やはり、真の意味で自らを見て律してくださるのは、ただ仏さまだけだと実感します。

的な修養のことを意味する。しかし、初期仏教では、修養にとどまらず、釈尊の宗教的活動の全体を意味するものであった。さらに、淫欲を絶つ清浄な行為、涅槃を証するための一切の行法を示した。(Wikipedia)

③【生成AI】

画像や動画などの新しいコンテンツやアイデアを作成したり、知っている情報を再利用して新たな問題を解決したりできるAIの一種。(AWSの説明より)

①【ナーガ】

インド神話に起源を持つ、蛇の精霊または蛇神のこと。インドコブラを思わせる記述が多い。釈尊が悟りを開くときに守護したとも言われ、仏教では竜王として取り入れられた。インドでは蛇神であったが、中国で竜王をされ、中国の龍神信仰と習合したとされる。(Wikipedia)

②【梵行】

梵天の行を意味する。厳密には、清らかな行、崇高な行ということで、宗教



この前いただきますの時に食べ物に手を合わせていたら、違うよって言われちゃったけど？



そうですね。食べ物は大切な頂き物だから、手を合わせるのは当然ですよ。

それでは、じゅんこちゃんにお話ししたい思いがありますので聞いてください。

むかし、お寺さんの集まりで、係のお寺さんからお礼（お布施）を頂いたときに、思わずお布施に向かって手を合わせたら、隣に居合わせた先生から、

「お布施に手を合わせるもんじゃありませんよ」

とご指摘をいただきました。つい、頂いたお布施に手をあわせたのですが、先生のお言葉にどうしたらいいのかわからず、面を食らっていると、続いて先生から、
「お心をいただくのです」と、教えていただきました。

確かに、お心に感謝するのが当然ですね。お心を受けるときには、顔を上げて、心から仏さま、先様に感謝します。顔を下げたお布施に手を合わせていたらおかしいですね。

食べ物をいただくときも同じです。作って下さった方、運んで下さった方、恵みをくださったすべてに感謝するのです。ですから、顔を上げて、心をいただくことが正しいと教えて下さったわけですね。

《第六十二回 蓮》

2月に植え替えていただいた蓮が、葉をのぞかせていました。經典の中でも説かれている蓮ですが、先日訪れたタイの寺院でも、多くの蓮が植えられています。泥の中から美しい花を咲かせるその姿には、しみじみとした感動があります。

それは、私自身が泥の中で美しくあり続けることができないと感じているからこそ、より一層心に響くのかもかもしれません。今年の蓮がどのような花を咲かせてくれるのか、今から楽しみです。

よくよく考えてみると、何事においてもわかりです。苦ししいことにあまりフォーカスせず、「気にしない」というお薬もあるかもしれません。

お寺とともに

気づかないで



先日、耳鼻科で受診していたいた時のことです。

この数年、耳鳴りに悩まされていて、最近時はよりひどく落ち込むこともあり、お世話になっている病院に申し訳ないと思いつきながら、何とかならないかと、薬をもらう思いで別の病院に行ってみたのです。

緊張しながらも、あれこれ診察していただくと、少し間をおいて、

「あまり気にしないでください。ね。脳はご自身が気にされると余計に変な音を出しますから」

と。今までも散々「病は気から」と言われて腑に落ちずにいたのですが、先生から丁寧の説明して頂いた、脳と自律神経のお話に妙に納得して帰ってきました。そう言えば夢中で作業している時は耳鳴りは聞こえないような気がします。

よくよく考えてみると、何事においてもわかりです。苦ししいことにあまりフォーカスせず、「気にしない」というお薬もあるかもしれません。

順慶寺本堂南側の土盛りにはび割れ

本堂の土盛りの補修を執行

さる5月12日、本堂南側の土盛りを保護するコンクリートのひび割れを補修する工事を実施しました。

4月に行われた護寺会総会を前に、順慶寺境内西側墓地のアルミ門扉の修理をお願いし、その完了検査のために、墓地管理委員長の鈴木市成氏と現場に赴くと、鈴木氏より、境内南側の墓地と本堂との間にある通路に張り出している本堂の南側の土盛りを保護するために施してあるコンクリートにひび割れがあり、かなり重症であることが指摘されました。

平成30年に竣工した、本堂の修復工事の際には、本堂の南側のコンクリートにはほとんどひび割れはなく、本堂床下部分のおき出しになっていた土盛りのみに漆喰を施して工事完了となっていました。

ところが、このところの高温と多雨の影響もあってか、本堂南側の土盛りを護っていたコンクリートにの劣化が進み、玉砂利がむき出しになってしまっていたり、いたるところでひび割れができてしまっていました。ひび割れからは、水が浸透して、土盛りの土をけずり、一部の土が表面に吹



▲コンクリートの研り ▼メッシュの埋め込み (5月12日、順慶寺本堂南側にて)



き上がっていました。

鈴木氏によると、南側の土盛りを護るコンクリートは、近くの河川の砂と砂利をそのまま使っており、材質が荒く、素人によって施工されたらしく継ぎはぎが目立つとの指摘でした。

緊急に補修をしなければ、土盛りの土がコンクリートの中で土盛りが削られ、建物に影響が出ることが予想されるため、すでに護寺会総会が終了して予算が執行される中で、予算費を使って工事を遂行するよう、住職が護寺会会長に諮り、会長と会計の立ち会いのもと、工事にかかることになりました。

工事は、墓地の補修工事などでお世話になっている、浜松の有限会社アズマ様をお願いし、早速4月12日より工事に入っていました。

実際コンクリートを研っていたとくど、多くの箇所コンクリートと土の間に空洞ができ、水が浸透するたびに土盛りが削られていることが分かりました。工事は、コンクリートを丁寧に研っていたとく、数日にわけて、空洞を埋め、金属のメッシュを入れてコンクリートを充填することと完了となりました。

なお、護寺会本予算にあった、本堂スロープ工事などは順次執行させていただく予定にしております。

5月度護寺会物故者(敬称略)

清観院釋望徳

5月13日寂 池田 望(99)

山ノ端組 池田康志様の父

編集部短信

◆護寺会費お集め始まる〓 さる5月7日より、令和7年度護寺会費のお集めを開始。護寺会費は、護寺会総会にて令和7年度行事計画と予算案が可決されたことを受けて、事務局が護寺会報を作成し、会報を添えてお集めを開始した。今年から、護寺会費等の寺務を若院が担当することとなり、早速コンビニCVS(振替システム)などの方法が住職より伝授された。

◆竹林整備終わる〓 さる5月16日、責役の相木国男氏所有の竹林の最終整備が実施された。順慶寺では、毎年、相木国男氏所有の竹林で、タケノコ掘りを実施させていただいており、今年も花祭りの当日などにタケノコ掘りを実施。相木氏の竹林では、タケノコ掘り前の整備、タケノコ掘り後の整備を総代OB会を中心に有志の皆さんが集まって、ボランティアで実施されている。今年も、最終の整備が終了した

阪万博の関係で、日程が順延になっていた護寺会バス旅行の日程が、10月10日(金)に奈良(葉師寺・般若寺ほか)巡拝で決定した。今後、総代四役にて日程の詳細や参加費などについて検討され、9月の祠堂法要の際に申込書を配布する予定。

編集雑誌

先日深夜に、偶然NHKスペシャル「創られた『真実』」ディープフェイクの時代の再放送を見ました。番組では、ディープフェイク画像を使って、亡くなった人との再会することを二つのテーマにしています。真宗では、亡くなった人は、浄土に帰られて、さらに菩薩(還相菩薩)として穢土に還ってこれるとしていますから、これから真剣に向き合っていくなくてはならない問題だと認識しました。(住)

.....

寒暖の差が激しい日が続いております。昨年は、梅雨にもかかわらず雨がほとんど降らず、まるで急に夏がやってきたかのようでした。今年は、しとしとと雨が降る、日本らしい6月が訪れるのでしょうか。(若)





6月の主な行事予定

日 曜	行 事 内 容	掃除当番
1 日	寺カフェ(9:00～、順慶寺本堂南落間他)	
2 月	お楽しみ会(14:00～、順慶寺本堂)	
3 火		
4 水	むつみ会・ゆるふわ体操(14:00～、順慶寺本堂)	
5 木		木-1
6 金		
7 土		
8 日		
9 月		
10 火		
11 水		
12 木		木-2
13 金		
14 土		
15 日		

16 月	真宗講座(16:00～、順慶寺本堂)	
17 火	21組同朋教室(13:30～、築地町・誓願寺)	
18 水		
19 木	助音講(16:00～、順慶寺玄関)	木-3
20 金		
21 土	順慶寺こども会(9:00、順慶寺本堂)	
22 日		
23 月		
24 火		
25 水		
26 木		木-4
27 金		
28 土	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29 日		
30 月		
7/1 火	寺カフェ(9:00～、順慶寺本堂南落間他)	

6月行事内容 詳細

ゆるふわ体操(むつみ会)

6月4日(水)

午後2時～ 順慶寺本堂

むつみ会の共催で、今川町の橋本久美子先生に、体をほぐし血行をよくする「ゆるふわ体操」を教えてくださいいただきます。名目のごとく、ゆるくふわっと体を動かす体操なので、高齢者や体の不自由な方でも可能な運動です。むつみ会主催の行事ですが、参加することは可能ですので、ご都合の付く方、興味のある方は是非お越しください。参加費は無料です。

二十一组同朋教室(二回目)

6月17日(火)

午後1時30分～誓願寺(築地町)

講師 西尾市随庵寺 安藤誠也氏

講題 「御仏事」

岡崎教区二十一组主催による、同朋講座の第二回目が開催されます。第一回目では、現在の仏事が危うくなってきたこと、手を合わせるものがなくなってきたことなどを分かりやすく教えていただきました。第二回目もさらに踏み込んだお話を聞けることを期待しています。参加費は千円(二回通し)。

お知らせ

●護寺会費のお集めについて

5月より護寺会費のお集めが始まっています。年番のある組は、年番が護寺会費のお集めに上がりますが、それ以外護寺会員の皆さんは、コンビニ振替(又は郵便振替)にて会費を納入することになっています。コンビニ振替は、6月末日を過ぎると納入ができなくなってしまうので、お間違えのないようお願いいたします。

●法事の本堂利用について

昨今、本堂で法事を催したいという方が多くなってきました。法事は、ご自宅の御内仏で行うのが基本ですが、特別な理由のある護寺会の皆さんは、本堂での法事を利用料なしで催すことができます。その際の利用方法は、ホームページに記載していますので、ご参照ください。



じゅんこのときめき歳時記

らつきよう

みなさん、もう今年も6月になりますね。春の気持ちのいい時は短くて、だんだん暑くなってきました。そろそろ、夏負けしないように体力をつけていかなくてはいいかもしれません。

夏バテに効くたべものでもいいつくもの一つは、らつきようです。らつきようは、食物繊維が多くふくまれ、ゴボウの3〜4倍もあり、老廃物の排泄を促進し、新陳代謝を高めるそうです。梅雨頃になるとお店で売っていますし、生で食べられる若いらつきよう(エシャレットと呼ばれ、タマネギのエシャレットとは違うらしいです)はおいしいですね。

らつきよ壺

のぎきなどーて暑々急

細見綾子

